



# もいおかYMCA ニュース



## アドベンチャークラブ 1月活動、小鹿牧場で雪遊び

アドベンチャークラブの1月の活動が、1月28日(日)小鹿牧場で行われました。当日は、大槻リーダー、竹内リーダー、隼平リーダー、幸子リーダー、駒目リーダー6人のリーダーと12名の子供達が参加し、楽しいひと時を過ごしました。

小鹿牧場の丘陵をソリですべり降りるのはスリル満点。午後からは、かまくらを作るグループ、雪合戦を作るグループとそれぞれに分かれ、楽しいひと時を過ごしました。



お昼は、暖かいコーンスープで暖をとりました。

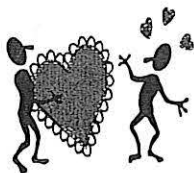
## フットサル大会開催される。

幼児、低学年の子供達。リーダーと一緒にパチリ。



第4回フットサル大会が2月12日(月)矢巾の勤労者体育館で開催されました。当日は、17名の大学生のボランティアリーダー、40名の子供達が参加して行われました。雪で、思う存分ボールをけることがなかなかできないこの時期、室内で行われるフットサルは、盛岡にとってうってつけです。

子供達は、お父さんチームや、リーダーチームと熱戦を繰り広げていました。また、当時は、ケニアからの留学生シタンダさんとバングラデッシュからの留学生マフスさんも参加。国際交流もかねての楽しいフットサル大会となりました。



### 「引き算」で生きてみませんか

いつだったか  
君が空を飛んで行くのを見たよ  
風に吹かれてただ一つのものを持って  
旅する姿がうれしくてならなかったよ  
人間だってどうしても必要なものは  
ただ一つ  
私も余分なものを捨てれば  
空がとべるような気がしたよ

(星野富弘・たんぽぽ)

私は人生には『二つの生き方』があると考えています。一つは『足し算的生き方』です。人生とは『足していくこと』だと考える生き方です。お金や財産や所有物を増し加えていくこと、それが人生における目的であり、意味であるという考えかたです。

そして今日ではお金や物だけでなく、知識や教養も足していくものだと考えられているようです。その証拠に、知識や教養の多い人ほど立派な人だという常識があるのではないのでしょうか。

ところで、この『足し算』には限界がないのです。いくら足しても終わることがありません。足し算は無限に続くのです。無限に続くこの『足し算的生き方』を『欲望充足的生き方』と呼びかえてもいいのではないのでしょうか。

もう一つ生き方があります。それを『引き算的生き方』と呼んでみましょう。『引き算』とは自分のもっている物を、引いていくのです。いま持っている物の一つずつ引いていくのです。そうするとどうなるのでしょうか。最後はなににもなくなってしまいます。ゼロになってしまうのです。なににもなくなって、ゼロになってどうして生きていくのでしょうか。

ところでこのゼロという数字、大変興味深い数字です。ゼロのままならば、それはなににもないことです。そして、0000とゼロをいくら並べてもそこには意味はありません。ところが、ゼロを他の数字の横に置いてやればどうなるのでしょうか。たとえば、1の横に0を並べれば「10」になります。ゼロのままならば何の意味もないのに、他の数字のそばに並べれば他の数字を何倍にも大きくする力を持っているのです。自分自身は、何も無いゼロでありながら、しかし、他を大きく豊かにすることができます。ゼロは何もないことではなく、他を生かす無限の力を持っていることなのです。『引き算』で生きていけば、私達もたんぽぽのように空を飛べるかもわかりません。

YMCA同盟出版シリーズボランティア2より抜粋  
(上林順一郎 早稲田教会牧師)